

長万部の

教育

コーナー



わくわく！おたのしみ会

いずみ保育園

毎年、お母さん達が子ども達の為に企画をしてくれる「おたのしみ会」。子ども達は、朝からわくわく、外からしてくる焼き鳥のいい匂いに益々はしゃいでいます。

「穴のあいた銀色のお金だよ！」とアドバイスする様子も見られます。こんな家族的な雰囲気の中で大人も子どもと一緒に楽しんだ温かい一日でした。

開始の合図で、お財布を首から提げて可愛いお客さんが出てくると、境内は一気に賑やかになりました。お父さん達手作りの的当てゲーム、テーブルのボーリング、魚釣り！ゲームの賞品をもらったあとは、美味しいカレーライスや焼きそば、かき氷にポテト：等々まだお金の種類がわからないお友達には、お店屋さんのお母さんが



上手に的に当たるかな？

「今、キャンパスでは」

東京理科大学

理科大長万部キャンパスは今年で創設31年目を迎えています。創設当時から、理科大は長万部町と活発な交流を行ってきました。今年も「写万岳登山」や「毛がにまつり」をはじめ町主催の行事へ参加させて頂いております。

キャンパスでは毎年「学寮祭」が行われます。このお祭りは学生が自分達で作り上げる企画です。1年生だけのキャンパスですので、全て自分達でやらなければなりません。実行委員会を立ち上げ知恵を振り絞って企画を立案し、実行可能な形へと仕上げてい

きます。学寮祭は町民の方々がキャンパスの雰囲気を知る絶好の機会でもあります。現在学生達は学寮祭を成功させるべく、全員一丸となつて頑張っています。

「ハートフルコンサート」も毎年キャンパスで開催される行事です。初冬に催されるこの音楽祭は、学生が町民の代表と交渉しながら準備が進められます。今年もピアノ演奏を始めとしているいろいろな音楽演奏が計画されています。



学寮祭メインステージ風景

最近では教育カリキュラムの変更に伴い学生のキャンパス生活が慌ただしくなっています。それでも学生達は空き時間を上手く利用して町の行事等に参加し1年間だけの長万部ライフを楽しんでいます。様々な形の交流を通じて学生は他大学ではなかなか経験できない社会勉強をさせて貰っています。今後も長万部町との活発な交流を続けていきたいと思っています。

学生指導部長 橋本 茂樹

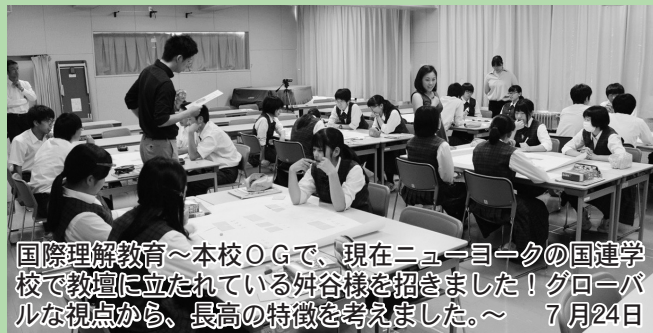
長万部高等学校

写真で見る 学校の様子

静狩小学校



第66回長高祭～学年の垣根を越えて、
素敵な思い出を作ることができました！～ 7月16日



国際理解教育～本校OGで、現在ニューヨークの国連学校で教壇に立たれている舩谷様を招きました！グローバルな視点から、長高の特徴を考えました。～ 7月24日



前期期末考査
～日頃の勉強の成果を発揮！～ 9月6日



9月1日 喜びを共に ―収穫祭―



9月12日 Enjoy English ―外国語活動―



9月15日 みんな仲良し ―秋の遠足―

自分・友達の「よさ」再発見

合同宿泊研修を通して

七月十八日(火)・十九日(水)に、「ネイパル森」にて宿泊研修を行いました。

今年度は、長万部町内の小学五年生三十名が参加しました。

今回の宿泊研修での子どもたちのめあては、「みんなが納得して、自分たちの力でやりとげること」「自分や友達のいいところを見つけること」です。

大きな期待と希望を胸に学校から出発。降っていた雨も、森町に近づくにつれ天気が回復し、外での活動が実施できることになりました。

出合いの集い、昼食を終え、最初の活動は、「サイクリング」です。「コマ図」と言われる地図を頼りに、それぞれのグループがマウンテンバイクに乗って、チェックポイントを目指します。大人がついていない状況で、友達同士で話し合い、助け合いながら活動しました。途中、チェックポイントを忘れてしまいうグループもありましたが、全員ゴールまでたどり着きました。

次の活動は、「パークゴルフ」です。最初は、なかなかボールが飛ばない様子も見られましたが、だんだんコツをつかんでいき、ホールインワンをする子どももいました。

夕食後は、「ちゃっつぷ林館」で入浴タイムです。男子、女子とも、大盛り上がりでした。正しくマナーを守りながらも、友達と楽しそうに話す姿が見られました。

そして、夜はそれぞれの部屋で、楽しく過ごしました。親から離れクラスの友達と過ごす夜、子どもたちにとって、貴重な経験となりました。

二日目は、朝食、部屋の整理整頓からスタート。自分のことは自分で行うネイパル森では、掃除や布団の片付けも自分たちで行わなければいけません。グループ内で声をかけ合いながら、きれいに片付けることができました。

その後、「木工クラフト」に取り組みました。木に松ぼっくりやどんぐりなどをくっつけて、思い思いの作品を製作しました。今回の宿泊研修を通して、「自分や友達のいいところ」を改めて再確認した子どもたち。十年後、二十年後も思い出話に出てくるような、そんなすてきな二日間となりました。

